

令和元年度事業報告

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

I. 概況

令和元年度の世界経済は、経済成長の減速感・鈍化が現れつつある中で、2020年に入り新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い急激な後退に直面した。国際通貨基金（IMF）は2020年4月14日に公表した最新の世界経済見通しにおいて、『1930年代の世界恐慌以来最悪の景気後退』との見解を示している。今後の見通しについては、2020年後半より各国の政策支援などから経済活動は徐々に回復傾向に向かうとし、5.8%と急回復を見込んでいるものの、現状において日本を含め新型コロナウイルス感染拡大の収束時期を見極めることは難しく、不確実性が非常に高い世界経済情勢と言える。

上記の中、国内の令和元年度の鶏肉消費量（推定出回り量）は前年度比102.0%の221万5991トンと過去最高となった。なお、消費量のうち全体の7割以上を占める国産品は、165万8522トン（同3.4%増）と9年連続の増加となった。

また、令和元年度の鶏肉生産量は、166万1991トン（前年度比3.7%増）と過去最高となった。これは、消費者の健康志向の高まりなどによる底堅い需要に支えられた増産対応の結果であると考えられる。

一方、鶏肉輸入については、平成30年度に減少したブラジルからの輸入の回復等から前年度比5%、約2.7万トン増加したが、調整品が1.3万トン減少し、鶏肉と調製品を併せた全体輸入量は1.3%、1.4万トンの増加にとどまった。

このような状況の中、平成25年秋以降回復してきた鶏肉の卸売価格は、生産が消費の伸びを上回る増加基調で推移してきていることもあり、総じて前年度をやや下回る水準で推移した。

食鳥産業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行に伴う未曾有の世界経済の悪化、完全な収束に至らない状況下で今後とも世界経済の低迷が長期化する懸念がある中、個人消費の動向、鶏肉輸入の動向等不透明感が強く、

わが国の食鳥産業はさらに人材の確保難やA I 発生リスク等の課題も抱え、引き続き厳しい状況にあるといえる。

日本食鳥協会としては、会員とともにこれら諸課題へ解決に向けた対応を継続していくとともに、国産鶏肉の消費拡大の一層の推進に努めてきた。具体的には、平成 25 年度に作成した、「あんしんも、おいしさも。国産チキン」をコンセプトとした「国産チキンシンボルマーク」の一層の普及定着を図り、国産チキンの適切な表示と輸入品との差別化を図るとともに、鶏肉の輸出についても、平成 27 年 1 月に設立した「日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会」を中心に、日本産鶏肉の輸出拡大のための各種対策に取り組んできた。

1. 家計消費

令和元年度の全国一世帯あたり鶏肉家計消費は、購入数量が 17,042 g（前年比 99.96%）、支出金額が 15,679 円（前年比 98.98%）となっており、購入数量は新型コロナウイルスの影響があったものの、外出自粛による家庭内消費の高まりにより昨年度とほぼ同量となっている。支出金額は鶏肉市況の相場安等の要因から減少した。

	令和元年度	平成 30 年度	前年差（g、円）
数量（g）	17,042	17,048	△6
金額（円）	15,679	15,840	△161

資料：総務省統計局（全国二人以上の世帯）

2. 肉用若鶏の処理羽数及び処理重量

令和元年の処理羽数については、好調な鶏肉需要を受け生産者の増産意欲が高まったことなどが挙げられる。また、処理重量については、生産技術の向上による生産成績の改善や育種改良が進んだことなどから、前年に比べ羽数は約 11,922 千羽増羽し、重量も約 49,039 トン増加した。

	令和元年		平成 30 年		前年差	
	羽数 (千羽)	重量 (t)	羽数 (千羽)	重量 (t)	羽数 (千羽)	重量 (t)
肉用若鶏	712,493	2,131,953	700,571	2,082,914	11,922	49,039
廃鶏	84,523	147,738	84,917	148,914	△394	△1,176
その他肉用鶏	5,572	18,195	5,714	18,519	△142	△324

資料：農水省「食鳥流通統計調査」

3. 鶏肉輸入量

令和元年度の鶏肉と調整品を合わせた総輸入量は、ブラジルが増加したことから前年を約 1.4 万トン上回る 107.8 万トン（前年比 101.3%）となった。

鶏肉は、タイ・米国からの輸入量が減少したもののブラジルが増加し、前年より約 2.7 万トン上回る 57.2 万トン（前年比 105.0%）となった。

また、調製品は、タイは増加したものの中国が減少し、前年より約△1.3 万トン下回る 50.6 万トン（前年比 97.5%）となった。

	鶏肉（トン）		調整品（トン）		合計（トン）	
	R 元年度	H30 年度	R 元年度	H30 年度	R 元年度	H30 年度
ブラジル	422,908	388,937	0	0	422,908	388,937
タイ	127,950	131,163	316,076	306,314	444,026	437,477
中国	23	31	184,100	208,391	184,123	208,422
米国	16,036	16,766	0	0	16,036	16,766
その他	5,194	8,028	5,917	4,374	11,111	12,402
合計	572,111	544,925	506,093	519,079	1,078,204	1,064,004
前年差	+27,186 (+5.0%)		△12,986 (△2.5%)		+14,200 (+1.3%)	

資料：財務省「貿易統計」、A l i c など

4. 食鳥相場

品名 \ 項目	上期 (円/kg)		下期 (円/kg)		年間 (円/kg)	
	4月～9月	前年差	10月～3月	前年差	4月～3月	前年差
もも肉	561	△6	587	△30	574	△17
むね肉	228	△46	257	△8	243	△26
もも肉+むね肉	789	△52	844	△38	817	△43

資料：日本経済新聞社「正肉加重平均価格」

令和元年度の加重平均相場のもも肉は、前年を割り込む 574 円/kg（前年差△17 円）、むね肉も、前年を割り込む 243 円/kg（前年差△26 円）と前年を下回る相場展開となった。

II. 事業内容

1. 補助事業等の実施状況

(1) 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業

(独) 農畜産業振興機構 事業費：6,508 千円

補助金：6,508 千円

高病原性鳥インフルエンザ等の発生時において、食鳥の集出荷・処理・流通の円滑化を促進するため中央段階及び地域段階において検討会を開催した。また、食鳥処理場における HACCP 導入義務化に向けた対応及び食鳥処理の高度化を推進し、安心・安全を高める体制整備を図った。

なお、第 4 回は新型コロナウイルスの影響で中止とした。

ア. 緊急時対応に向けた検討会の開催（補助率：定額）

○中央検討会

検討会	開催日	開催場所	出席者
第 1 回	令和元年 6 月 3 日	東京国際フォーラム	24 名
第 2 回	令和元年 8 月 26 日	浜松町東京會館	24 名
第 3 回	令和元年 11 月 14 日	東京国際フォーラム	23 名
第 4 回	中止 令和 2 年 3 月 17 日	浜松町東京會館	—

○地域検討会

開催地	開催日	開催場所	出席者
九州	令和元年 9 月 3 日	山口グランドホテル	39 名
中部	令和元年 9 月 5 日	ウイंक愛知	26 名
関西	令和元年 9 月 10 日	大阪食鳥會館	23 名
東北	令和元年 10 月 8 日	盛岡地域交流センター	18 名
関東	令和元年 11 月 21 日	(一社) 日本食鳥協会	14 名

イ. 安全・安心を高める体制整備

- ① 小規模食鳥処理施設へのHACCPの考え方を取り入れた衛生管理の導入を推進するための検討会・研修会を開催した。

○検討会

開催日	開催場所	出席者
平成 31 年 4 月 17 日	(一社) 日本食鳥協会	10 名

○研修会

開催地	開催日	開催場所	出席者
九州	令和元年 5 月 22 日	福岡朝日ビル	57 名
関西	令和元年 5 月 23 日	大阪食鳥會館	94 名
中部	令和元年 5 月 24 日	ウイंक愛知	28 名
東北	令和元年 5 月 27 日	ホテルメトロポリタン盛岡	21 名
関東	令和元年 5 月 29 日	東京国際フォーラム	83 名

- ② 食鳥処理の高度化を推進するための検討会の開催

食鳥処理の省力化や、衛生管理の高度化といった業界の直面する課題に対処するため、機械・施設面からのアプローチを検討し、機械・施設メーカー等への提言を行った。

検討会	開催日	開催場所	出席者
第1回	令和元年 8月 1日	(一社) 日本食鳥協会	10名
第2回	令和元年 10月 24日	〃	9名
第3回	令和2年 1月 23日	〃	17名

ウ. 滞留鶏肉の一時保管及び食鳥処理場の再開に必要な設備及び機器のリース等に対する支援については、高病原性鳥インフルエンザの発生がないことから実施に至らなかった。

(2) 国産鶏肉生産量等調査事業

(独) 農畜産業振興機構 事業費：4,950千円

受託額：4,950千円

成鶏及び地鶏等の処理羽数及び処理量を月単位で調査・集計し、毎月の生産動向を把握し、(独) 農畜産業振興機構及び関係者に通知し国産鶏肉の安定供給に資した。

(3) 国産食肉等新規需要創出緊急対策事業

(独) 農畜産業振興機構 事業費：9,030千円

補助金：8,504千円

国産鶏肉の需要拡大を図るため、次の事業を行った。

ア. 商品性創出事業 (補助率：定額)

① 国産鶏肉新需要創出緊急対策事業推進協議会の開催

国産鶏肉の新たな商品開発及び消費拡大の方策について多角的な検討を行うため協議会を開催した。

開催日	開催場所	出席者
令和元年 9月 2日	(一社) 日本食鳥協会	15名

② 消費者ニーズに応じた国産食肉等の品質・規格の調査選定

急増する在留外国人、特にイスラム教徒の国産鶏肉の品質及び規格等に対するニーズ調査を行うための調査内容の検討及び調査対象の選定等を行った。

③ 訴求ポイントの科学的検証

国産鶏肉をより美味しく食べるための調理方法の探索、食味性要因の科学的解析・検証を行い消費者へ解りやすく公表し、国産鶏肉の普及啓発に活用した。

ア) 新たな加工品の開発方針を検討するための検討会を開催した。

開催日	開催場所	出席者
令和元年 12 月 3 日	(一社) 日本食鳥協会	8 名

イ) 訴求ポイントの科学的検証

- i. 真空調理方法等の種々の調理方法を用い、生じる香気成分を解析し、嗜好性の決定に重要なものを特定した。
- ii. 実証事業で開発した加工品は成分分析し、訴求ポイントを探しエビデンスをもって商品価値を高めた。
これらを「国産チキンの優位性を示すための訴求ポイントの科学的検証報告書」に取りまとめた。

④ ニーズに対応した生産出荷体制の確保

ニーズに対応した生産出荷体制及び調理方法の開発提案検討会を開催し、消費者が求める包装形態で、地球環境にも配慮した商品として「産地小袋パック（深絞りパック）」を推進することとした。また、新たな商品価値に即した国産鶏肉の調理方法の開発検討を行った。

検討会	開催日	開催場所	出席者
第 1 回	令和元年 10 月 1 日	(一社) 日本食鳥協会	6 名
第 2 回	令和元年 12 月 3 日	〃	7 名
第 3 回	令和 2 年 2 月 13 日	〃	9 名

⑤ 国内の販路開拓

新たな商品価値に即した国産鶏肉の国内における販路を開拓するため、
7 大学の学食でのハラールチキンに関する鶏肉需要の調査を実施し、「ハ

ラールチキンに関する国内需要調査報告書」に取りまとめた。

ア) 試食会の開催

以下の試食会を新型コロナウイルスの影響で中止とした。

i. 実証事業の鶏肉料理法の開発・提案された商品

開催日	開催場所	出席者
中止 令和2年3月17日	浜松町東京會館	—

ii. 低需要部位を使った加工品

開催日	開催場所	出席者
中止 令和2年3月17日	浜松町東京會館	—

イ) PR資料等の作成

訴求ポイントのパンフレット等を作成し、また、ホームページ等を活用して国産鶏肉の販路開拓を行った。

イ. 実証事業（補助率：1/2 以内）

①国内外の実需者（小売・外食等）に対する調理法の開発提案

新たな商品価値に即した国産鶏肉の調理法を開発検討するための検討会を開催し、国産鶏肉をより一層身近なものとしていただくために「誰でも手軽に入る調味料・材料で、自宅で作る、多国籍料理を8品開発」し、レシピ集作成し会員・関係機関へ配布した。

検討会	開催日	開催場所	出席者
第1回	令和元年10月1日	(一社)日本食鳥協会	6名
第2回	令和元年12月3日	〃	7名
第3回	令和2年2月13日	〃	9名

②国産鶏肉の低需要部位を利用した加工品の試作

魚・他畜種の代替品となる鶏肉加工品を開発するため、国産鶏肉の低需要部位を利用した加工品の試作を選定し、その試作と科学的検証を行った。

○3品：本格地鶏中華まん、青森シャモロック冷燻、ほろほろ胸肉の角煮

(4) 地鶏普及推進事業

公益財団法人 全国競馬・畜産振興会 事業費：16,746 千円

助成金：13,397 千円

地鶏の振興を図るため、消費者等に対し、地鶏の生産から流通、小売、消費に亘る各種情報を発信し、地鶏の理解の醸成に努めるとともに、零細規模の生産者が連携して共同販売（リレー販売）等以下の事業を実施した。

実施事業	実施内容等
地鶏リレー販売	令和2年2月～3月に3箇所を実施した。
地鶏特性説明	・日本医科大に委託し、「地鶏特性説明報告書I」に取りまとめた。
地鶏セミナー	令和元年9月20日：岡崎市コンファレンスセンター
地鶏フェスティバル	令和元年9月14～16日：光が丘公園（東京都）
地鶏フェア	・各県地鶏振興協議会等で実施する地鶏フェアの経費を助成した。（全国8ヶ所）

(5) 日本畜産物輸出促進対策事業

日本畜産物輸出促進協議会 事業費：16,756 千円

委託費：16,756 千円

鶏肉の輸出促進を図るため、日本畜産物輸出促進協議会の委託を受け、現地消費者への情報発信、鶏肉輸出統一ロゴマークの普及、海外におけるプロモーション活動等を実施した。

なお、2月の香港でのレストランフェアは、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

開催日	開催国	実施事業
令和元年9月17日～21日	日本	香港スーパーバイヤー招聘
令和元年8月15日～17日	香港	FOOD EXPO 2019
令和元年10月17日～20日	〃	City Super 秋の催事

中止	令和2年2月17日～20日	〃	レストランフェア
	令和元年11月18日～19日	ベトナム	セミナー・試食会
	令和元年10月10日～12日	カンボジア	ANGKOR FOOD 2019

(6) 日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会事業（農林水産省）

畜産物輸出産地緊急対策事業（平成30年度補正）（補助金：4,148千円）

農林水産業の輸出力強化戦略に即し、農林水産物・食品の輸出額の拡大目標の達成に向け、日本産鶏肉の輸出市場開拓や新規マーケットに適した商品を提供するための課題調査、課題解決に向けた検討会・研修会の開催等、日本産鶏肉の輸出拡大を図るための取組みを実施した。

なお、3月の台湾での市場調査は、新型コロナウイルスの影響で中止とした。

開催日	開催国	実施事業	
令和元年11月26日～30日	シンガポール	食肉インポーター等調査	
令和2年1月13日～17日	シンガポール	ハラール需要調査	
中止	令和2年3月5日～8日	台湾	輸出解禁への市場調査

(7) 令和元年度畜産経営災害総合対策緊急支援事業

（家きん経営災害緊急支援対策事業）

（独）農畜産業振興機構 事業費：1,040千円

補助金：1,040千円

令和元年度8月13日以降に発生した台風および大雨による被害への土砂・がれき撤去への対応を行った。

(8) 令和元年度ブロイラー飼養実態アンケート調査

公益社団法人 畜産技術協会 事業費：1,254千円

委託費：1,254千円

ブロイラーの飼養管理の実態等に関するアンケート調査を実施した。

2. 当協会の独自事業について

(1) 国産鶏肉生産動向等の情報収集提供事業

事業費：2,268 千円

国産鶏肉は、国産食肉の中で最も消費量が多く重要な動物性蛋白質の供給源であり、安定的な生産供給に資するため、生産動向について調査を実施するとともにその情報を会員及び関係機関に提供した。

(2) 国産鶏肉取引・表示等普及推進事業

事業費：2,603 千円

国産鶏肉の適正な取引及び食鳥処理場の一層の品質管理の向上等を図るため、品質管理指導者研修会を開催した。

開催地	開催日	開催場所	出席者
九州	令和2年1月21日	福岡朝日ビル	28名
関東	令和2年1月24日	東京都港区立商工会館	19名
関西	令和2年1月30日	大阪食鳥会館	27名
東北	令和2年2月18日	ホテルメトロポリタン盛岡	31名

(3) 2019年度「国産チキンまつり」の開催

ア. 春の国産チキンまつり

九州支部、関西支部と連携し国産鶏肉消費拡大に取り組んだ。

実施日	参加イベント	開催場所
令和元年4月27日～29日	チキフェス2019	福岡天神中央公園
令和元年4月29日～5月1日	ロハスフェスタ万博	大阪万博記念公園

イ. 国産とり肉の日 (10.29)

10月29日を中心に全国統一イベント「国産チキンまつり」を開催し、国産鶏肉消費拡大に向け本部・支部と連携しながら、以下の日程で効果的に実施した。

支部	実施日・予定日	実施内容
○東北支部		
青森県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/13 (日) ~14 (祭) ・ 10/20 (日) ・ 10/21 (月)、10/29 (火) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畜産フードフェア 2019 ・ グローバルフィールド[®]お客様感謝デー ・ 保育園食育教室
岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9/14 (土) ~15 (日) ・ 10/5 (土) ~6 (日) ・ 10/26 (土) ~27 (日) ・ 10/27 (日) ・ 10/29 (火) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ IBCまつり 2019 ・ トリコロール 2019 ・ アマタケ感謝祭り ・ すみた産業まつり ・ あべはんショップチキンまつり
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員小売店舗での協賛セール
福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/12 (土) ~13 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福島やきとりまつり (台風で中止)
○関東支部		
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員小売店舗での協賛セール
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/5 (土) ~6 (日) ・ 10/25 (金) ~27 (日) ・ 11/16 (土) ~17 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収穫感謝祭 2019 ・ 会員小売店舗での協賛セール ・ 高崎えびす講堂
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) ・ 11/9 (土) ~10 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員小売店舗での協賛セール ・ あげお産業祭り
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/22 (金)、11/30 (土) ・ 10/12 (土) ・ 10/25 (金) ~27 (日) ・ 11/19 (火) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料理講習会 ・ 2019 築地秋祭り (台風で中止) ・ 会員小売店舗での協賛セール ・ 中華・食鳥肉フェスタ
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員小売店舗での協賛セール
○中部支部		
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員小売店舗等での協賛セール
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員小売店舗等での協賛セール

○関西支部		
京都府	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) ・ 10/27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国産チキンまつり協賛セール ・ 京都 See L フェア
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) ・ 11/3 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国産チキンまつり協賛セール ・ 大阪市旭区千林くらしエール館・国産チキンまつり
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国産チキンまつり協賛セール
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国産チキンまつり協賛セール
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/25 (金) ~27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国産チキンまつり協賛セール
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9/28 (土) ~29 (日) ・ 10/27 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国放送まつり 2019 ・ つるぎチキンフェス
○九州支部		
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/30 (土) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深川養鶏特別販売会
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/7 (月)、10/15 (火) ・ 11/8 (金)、11/26 (火) ・ 10/25 (金) ~27 (日) ・ 11/4 (祭) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料理講習会 ・ 会員小売店舗での協賛セール ・ 福岡食肉市場九州産ブランド食肉フェスタ 2019
佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/26 (土) ~27 (日) ・ 11/3 (日) ・ R2. 1/30 (木) ~2/2 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みつせ鶏本舗「がぼうま祭り」 ・ 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ ・ J Aさが農業まつり
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/23 (祭) ~24 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ながさき実り・恵みの感謝祭 2019
熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/13 (水) 	
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/17 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フードスタイル 2019 ・ karada good miyazaki フェスタ 2019
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/23 (祭) ~24 (日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気もりもり畜産フェア

○本部		
沖縄県	・11/29（金）	・うちな～いい肉の日

※全国の会員小売店舗等において、全国食鳥肉販売業生活衛生同業組合連合会と連携し「揚げておいしい若どりまつり」を10月25日～27日に開催した。

（4）食鳥処理加工技能評価試験実施事業

事業費：40,350千円

食鳥処理加工技能評価試験を、新制度において設立された外国人技能実習機構、試験官及び関係食鳥処理場等との連携を図りながら円滑に実施した。また、外国人技能実習生制度改正に適切に対応するとともにその定着化を図った。

なお、受検者数は前年より569名の大幅な増加となった。

年度	初級・回/人		中級・回/人		専門・回/人		上級・回/人		計・回/人	
H27	212	1055	1	2	2	5	-	-	215	1062
H28	243	1173	3	9	12	63	-	-	258	1245
H29	257	1202	1	1	107	573	-	-	365	1776
H30	248	1255	-	-	218	921	-	-	466	2176
R元	300	1632	-	-	242	1041	21	72	563	2745

（5）国産鶏肉市場活性化対策事業

事業費：9,216千円

「あんしんも、おいしさも。国産チキン」を、コンセプトとした「国産チキンシンボルマーク」の一層の普及定着と活用を図ることに重点をおいて事業を推進した。また、本事業の具体的な取組みについては、前年度に引き続き国産鶏肉市場活性化対策事業実行委員会において検討をおこなった。

なお、3月の検討会は新型コロナウイルスの影響で中止とした。

ア. 実行委員会

検討会	開催日	開催場所	出席者
第1回	令和元年6月4日	(一社)日本食鳥協会	17名
第2回	令和元年8月27日	〃	14名
第3回	令和元年11月15日	〃	15名
第4回	中止 令和2年3月18日	〃	—

イ. 協会ホームページリニューアル

新WEB開始：令和元年10月1日

ウ. 国産チキンシンボルマークの新聞広告掲載および販促資材作成

- ① 新聞広告掲載：全国食鳥新聞、鶏卵肉情報
- ② 販促資材：シンボルマーク入りペットボトル、車両用シール、ピンバッチ、モバイルクリーナー

エ. 令和元年度国産チキン普及啓発感謝状の贈呈

- ① 贈呈日：令和元年10月29日
- ② 贈呈先：日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社へ贈呈した。

(6) 2019年度海外食鳥産業研修の実施

ア. 実施日：令和元年10月28日～11月4日

イ. 視察先：フランス、オランダ

パリ、モンタルジ、ブレス、アムステルダム、ボクスメール

ウ. 参加人員：18名

Ⅲ. 各部会の事業状況

1. 小売部会

店頭小売の流通・販売段階において定期的に情報交換を行った。

また、当協会の主催する「国産チキンまつり」に積極的に参加協力する等、消費者に国産鶏肉の安全安心を訴えるとともに消費拡大に努めた。

なお、3月開催予定の委員会は新型コロナウイルスの影響で中止とした。

運営委員会	開催日	開催場所	出席者
第1回	令和元年6月3日	東京国際フォーラム	12名
第2回	令和元年8月26日	浜松町東京會館	10名
第3回	令和元年11月14日	東京国際フォーラム	9名
第4回	中止 令和2年3月17日	浜松町東京會館	—

2. 荷受部会

大消費地を中心とした鶏肉の需給価格動向について定期的に情報交換と情報提供を行い、鶏肉の流通改善を図るとともに中長期の需給調整と在庫の適正化に努めた。

なお、3月開催予定の委員会は新型コロナウイルスの影響で中止とした。

運営委員会	開催日	開催場所	出席者
第1回	令和元年6月3日	東京国際フォーラム	16名
第2回	令和元年8月26日	浜松町東京會館	10名
第3回	令和元年11月14日	東京国際フォーラム	10名
第4回	中止 令和2年3月17日	浜松町東京會館	—

3. 生産加工部会

緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業に係る中央推進委員会及び地域協議会に参画し、緊急時の鶏肉処理体制整備と食鳥の集出荷を円滑に行うためのネットワークを整備した。

また、生産流通段階における部会運営委員会を開催し、生産コストの低減を図る為、生産動向について定期的に情報交換を行い国内鶏肉生産の安定と流通改善に努めた。

なお、3月の委員会は新型コロナウイルスの影響で中止とした。

運営委員会	開催日	開催場所	出席者
第1回	令和元年6月3日	東京国際フォーラム	24名
第2回	令和元年8月26日	浜松町東京會館	24名
第3回	令和元年11月14日	東京国際フォーラム	23名
第4回	中止 令和2年3月17日	浜松町東京會館	—

当協会が実施した国産鶏肉生産動向等情報収集提供事業に協力するとともに、品質管理指導者養成研修会に参加し、安全で安心な国産鶏肉の安定生産に努めた。

また、主要産地協議会を開催し、食鳥産業を巡る諸課題について協議した。

なお、第2回会議は新型コロナウイルスの影響で中止とした。

協議会	開催日	開催場所	出席者
第1回	令和元年10月2日	鹿児島東急REI	28名
第2回	中止 令和2年4月8日	(一社) 日本食鳥協会	—

4. 種鶏ふ卵部会

国産鶏肉の需給価格動向と見通し及び輸入鶏肉の需給動向について定期的に情報交換を行うとともに、適宜、鶏肉及びブロイラー用ひな需給見通し情報の提供に努めた。

IV. 総会・理事会等の会議開催状況

1. 総会の開催

第59回定時総会

ア. 開催日時：令和元年度6月19日（水）午前10時45分

イ. 場所：浜松町東京會館「チェリールーム」

ウ. 出席者数：107名（うち委任状による出席者79名）

エ. 議事

「報告事項」

ア. 平成30年度事業報告に関する件

イ. 令和元年度事業計画に関する件

ウ. 令和元年度正味財産増減予算書の件

「議案」

第1号議案 平成30年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件

第2号議案 令和元年度会費の賦課並びに徴収方法に関する件

第3号議案 令和元年度借入金最高限度額に関する件

第4号議案 理事・監事の報酬の額及びその支給基準に関する件

2. 理事会の開催

(1) 第1回理事会

ア. 開催日時：令和元年6月4日（火）午前10時

イ. 場所：（一社）日本食鳥協会会議室

ウ. 出席者数：理事15名、監事2名

エ. 議案

第1号議案 報告に関する事項

（ア）各部会運営委員会の協議事項について

（イ）各支部の活動状況及び協議事項について

第2号議案 令和元年度事業計画及び平成30年度正味財産増減予算書の変更の件

第3号議案 平成59回定時総会議案承認の件

「報告事項」

（ア）平成30年度事業報告に関する件

（イ）令和元年度事業計画に関する件

（ウ）令和元年度正味財産増減予算書に関する件

「議案」

第1号議案 平成30年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件

第2号議案 令和元年度会費の賦課並びに徴収方法に関する件

第3号議案 令和元年度借入金最高限度額に関する件

第4号議案 理事・監事の報酬の額及びその支給基準に関する件

第5号議案 第59回定時総会の開催の件

(2) 第2回理事会

ア. 開催日時：令和元年8月27日（火）午後10時

イ. 場所：一般社団法人日本食鳥協会会議室

ウ. 出席者数：理事15名、監事2名

エ. 議案

第1号議案 報告に関する事項

(ア) 各部会運営委員会の協議事項について

(イ) 各支部の活動状況及び協議事項について

(ウ) 補助事業等の概要と実施状況について

① 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業

② 国産鶏肉生産量等調査事業

③ 国産食肉等新需要創出緊急対策事業

④ 地鶏銘柄鶏振興緊急対策事業

⑤ 畜産物輸出特別支援事業（鶏肉関連業務）

⑥ 日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会業務

(エ) 当協会の独自事業について

① 国産鶏肉生産動向等の情報収集提供事業

② 国産鶏肉取引規格適正表示等普及推進事業

③ 2019年度「国産チキンまつり」の開催

④ 食鳥処理加工技能評価試験実施事業

⑤ 国産鶏肉市場活性化対策事業の取組み

⑥ 2019年度海外食鳥産業視察

(3) 第3回理事会

ア. 開催日時：令和元年11月15日（金）午前10時

イ. 場所：（一社）日本食鳥協会会議室

ウ. 出席者数：理事12名、監事2名

エ. 議案

第1号議案 報告に関する事項

- (ア) 各部会運営委員会の協議事項
- (イ) 各支部の活動状況及び協議事項
- (ウ) 補助事業等の概要と実施状況
 - ① 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業
 - ② 国産鶏肉生産量等調査事業
 - ③ 国産食肉等新需要創出緊急対策事業
 - ④ 地鶏普及推進事業
 - ⑤ 畜産物輸出特別支援事業（鶏肉関連業務）
 - ⑥ 日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会業務
- (エ) 当協会の独自事業
 - ① 国産鶏肉生産動向等の情報収集提供事業
 - ② 国産鶏肉取引・表示等普及推進事業
 - ③ 2019年度「国産チキンまつり」の開催
 - ④ 国産鶏肉市場活性化対策事業の取組み
 - ⑤ 食鳥処理加工業技能評価試験の実施状況
 - ⑥ 2019年度海外食鳥産業視察報告について

第2号議案 令和元年度上期（9月期）の収支状況について

(4) 第4回理事会（書面決議 令和2年3月17日付け）

新型コロナウイルス感染拡大にともない書面決議で行った。

ア. 議案

第1号議案 報告に関する事項

- (ア) 補助事業等の概要と実施状況について
 - ① 緊急時鶏肉処理体制整備等対策事業
 - ② 国産鶏肉生産量等調査事業
 - ③ 国産食肉等新需要創出緊急対策事業
 - ④ 地鶏普及推進事業
 - ⑤ 畜産物輸出特別支援事業（鶏肉関連業務）

- ⑥ 日本畜産物輸出促進協議会鶏肉輸出部会事業
- ⑦ 家きん経営災害緊急支援事業（土砂・がれき撤去）

(イ) 当協会の独自事業について

- ① 国産鶏肉生産動向等の情報収集提供事業
- ② 国産鶏肉適正取引・表示等普及推進事業
- ③ 2019年度「国産チキンまつり」の開催について
- ④ 食鳥処理加工技能評価試験実施事業
- ⑤ 国産鶏肉市場活性化対策事業の取組みについて
- ⑥ 2019年度 海外食鳥産業研修について

V. 会員の異動状況

1. 会員の異動状況

部会\項目	会 員 数			
	期 首	入 会	退 会	期 末
小 売	22	0	0	22
荷 受	49	0	3	46
生産加工	82	0	3	79
種鶏ふ卵	9	0	0	9
インテグレーター	6	0	1	5
機器・薬品等	23	1	0	24
合 計	191	1	7	185

2. 入会・退会企業名

- (1) 入会（機器・薬品等）：キョーワクリーン(株)
- (2) 退会（荷受）：(有)竹田食鳥、鳥徳、(株)つくば鶏
- （生産加工）：ナカムラポトリ(株)、協業組合静岡若とり、(株)つくば鶏
- （インテグレーター）：松阪コップファーム(株)